

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	沖縄キリスト教短期大学
設置者名	学校法人沖縄キリスト教学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	地域こども保育学科	夜・通信			17	17	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/ocjc_syllabus/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	沖縄キリスト教短期大学
設置者名	学校法人沖縄キリスト教学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/gaiyou/roll_yakuin/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(現職) 日本基督教団沖縄教区 副議長	2025.06 ~ 2029.06	建学の精神担当
非常勤	(現職) 沖縄銀行常務取締役	2025.06 ~ 2029.06	財務担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	沖縄キリスト教短期大学
設置者名	学校法人沖縄キリスト教学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本学では「シラバス作成ガイドライン」に則り科目担当教員がシラバスを作成する。シラバスにおいては、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・マップ、また作成ガイドラインに基づき、各項目(授業形態、到達目標、授業の概要、各回の授業計画及び事前学習・事後学習、評価方法・評価基準、DPとの関連性等)について明記している。その際、第三者(学科長、教学支援部長、学科教員間、等)による点検作業を実施し、適正性に欠けるシラバスについては、担当教員へ修正を指示し、適正な内容へと改善を行っている。</p> <p>シラバスは3月中旬に完成し、ホームページ上で公表している。シラバス活用については、履修登録ガイドと併せてWebシラバスの利用手順を履修登録前の3月下旬にホームページ上に掲載し学生向けに周知している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/ocjc_syllabus/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目の「評価方法」として、到達目標に対する学修成果の到達度を適切に評価できる方法及び割合を、シラバスにあらかじめ明示している。</p> <p>(例：定期試験〇%、課題・授業外レポート〇%、小テスト〇% 等)</p> <p>また各授業科目の「評価基準」についても、到達目標で示した学修成果の到達度を評価する際にどこに着目するのか、具体的で客観的な判断基準として「授業別ルーブリック評価」を導入し、評価項目と評価基準について、初回講義時に学生に説明することとしている。</p> <p>学則及び履修規程に従い成績評価と単位認定を行うが、成績表示と素点評価、評価内容の基準については、学生便覧やホームページ上で説明している。</p> <p>学習意欲の把握については、出欠状況管理システムを導入し、出欠情報を一元管理している。また、出欠調査結果を基に、アドバイザーによる学生指導を実施している。</p> <p>(参考 ルーブリック利用ガイド： https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2026/03/touroku_8_rubric.pdf)</p> <p>(参考 成績評価について： https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/ocjc_requirements/#seiseki)</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

1. 成績評価と単位認定

成績評価は100点満点で行い、下記の基準により評定する。

判定	成績表示	素点評価	GP	評価内容
合格	秀 A	90点以上	4	到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている
	優 B	80点～90点未満	3	到達目標を十分に達成している
	良 C	70点～80点未満	2	到達目標をある程度達成している
	可 D	60点～70点未満	1	到達目標を最低限達成している
不合格	不可 F	60点未満	0	到達目標を達成していない
	欠 K	—	0	出席不足
合格	認 P	—	—	留学における単位認定の評価 ※GPA対象外とする

2. GPA 制度

学期毎に、全履修科目の単位当たりの成績の平均値 (GPA: Grade Point Average) を表示し、以下の計算式によって算出する。

履修科目の換算点の総和 / 履修科目の単位数の合計

ただし、換算点は [(科目の単位数) × (その科目で得たグレードポイント)] とする。小数点第2位まで表記し、第3位を四捨五入する。

<GPAの対象外科目>

以下の科目についてはGPA評価の対象としない。

- (1) 入学前の既修得単位を認定した科目
- (2) 協議に基づく他の短期大学または大学で修得した単位を認定した科目。
ただし、本学と同一法人の併設大学を除く
- (3) 外国の短期大学または大学への留学により単位を認定した科目
- (4) 短期大学または大学以外の教育施設等で修得した単位を認定した科目
- (5) 転入学時に単位を認定した科目
- (6) 受講免除科目

3. GPAによる修学指導
- (1) 累積GPAが1.50に満たない場合、アドバイザーによる勧告・指導・助言を行う。
 - (2) 累積GPAが1.00に満たない者には、学科長は退学を勧告することができる。

※1.～3. 関連規程

沖縄キリスト教短期大学履修規程
 (成績評価と単位認定) 第12条
 (GPA制度) 第13条

4. 客観的な指標に基づく成績の分布状況の把握については、「成績分布状況表」(※添付資料)を作成する。

※添付資料

地域こども保育学科「成績分布状況表」

客観的な指標の 算出方法の公表方法	<p>ホームページ https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/ocjc_requirements/#GPA</p> <p>成績評価と単位認定、及びGPA制度について定めた「沖縄キリスト教短期大学履修規程」を学生便覧に掲載している(新入生全員に配布)</p>
----------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

沖縄キリスト教短期大学

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

キリスト教、平和、沖縄の学びそして他者への奉仕を重んじる本学の建学の精神を理解し、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を伸ばすための主体的な学びをすることで、進路先で求められる課題解決に必要な教養と専門の基礎的知識・技能、社会人基礎力を習得した学生に学位の授与を行う。

地域こども保育学科

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。
2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を実践する態度を追求する。
3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。
4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。
5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士(保育)の学位を授与する。

沖縄キリスト教短期大学学則

(卒業に要する単位数)

第12条 卒業に必要な単位数は62単位とし、その内容は次のとおりとする。

- (1) 教養教育科目 必修科目および選択必修科目を含む16単位以上
- (2) 専門教育科目 46 単位以上

(卒業・学位・教育職員免許)

第30条 本短大に2年以上在学し、所定の授業科目を履修し所定の単位を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。卒業の認定及び卒業証書授与は、3月及び9月に行う。

2 学長は、卒業を認定した者に短期大学士の学位を授与する。

3 学位授与に関する規程は別に定める。

沖縄キリスト教短期大学学位規程

(学位の名称)

第2条 本短大において授与する学位は次のとおりとする。

地域こども保育学科 短期大学士 (保育)

沖縄キリスト教短期大学履修規程

(履修登録)

第4条

3 学期毎の履修可能な単位数は、原則として次のとおりとする。ただし、上限を超えての履修について、所属学科長との面談により承認された場合は、その限りではない。

学 科	上限単位数	備 考
地域こども 保育学科	24	実習科目及び実習指導は含めない。

●「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」を踏まえた上で、所定の単位数を修得した学生に対し、学則第12条、第30条及び学位規程第2条に則り、卒業を認定し学位を授与する。

(※また、履修規程第4条に則り、学期毎の履修可能な単位数の上限を定め、卒業に必要な単位の実質化に努めている。)

卒業の認定に関する
方針の公表方法

短期大学 https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/policy_ocjc/
地域こども保育学科
https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/policy_hoiku/

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	沖縄キリスト教短期大学
設置者名	学校法人沖縄キリスト教学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/johokokai/#joho02
収支計算書又は損益計算書	https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/johokokai/#joho02
財産目録	https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/johokokai/#joho02
事業報告書	○事業報告書
監事による監査報告(書)	https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/johokokai/#joho02

2. 事業計画 (任意記載事項)

単年度計画 (名称: 2025 年度事業計画 対象年度: 2025 年度)
公表方法: https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2026/04/jigyokeikaku2026.pdf
中長期計画 (名称: 沖縄キリスト教学院第6次中期計画 対象年度: 2026 年~2029 年度)
公表方法: https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2026/03/2026_jikotenken_plan6.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/09/ocjc_jikohyouka_2021.pdf
--

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法: https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2024/03/ocjc_hyokakekka_2023.pdf
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 地域こども保育学科
教育研究上の目的（公表方法 https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/mokuteki_ocjc/ ）
（概要） 地域こども保育学科 教育研究上の目的 （1）キリスト精神に基づき、創造的で、感性豊かな保育者を養成する。 （2）学生と教師が相互の対話を重視し、人間力を高め合う保育者を養成する。 （3）多彩なカリキュラムを通して、実践力、応用力を身につけた保育者を養成する。 （4）国際的視野を持ち地域に貢献できる保育者を養成する。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： 地域こども保育学科 https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/policy_hoiku/ ）
（概要） 地域こども保育学科 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） 1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。 2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を実践する態度を追求する。 3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。 4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。 5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（保育）の学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： 地域こども保育学科： https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/policy_hoiku/ ）
（概要） 地域こども保育学科 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー） 1. 他者や異文化への理解を深め、平和でよりよい保育環境を実現できる保育者を目指し、キリスト教学、キリスト教保育をはじめとする科目を配置する。 2. 保育者としての豊かな感性を身につけるための表現技術に関する科目、自らを律して主体的に保育を実践できるための実習に関する科目等を配置する。 3. 教養科目では、思考力・判断力・表現力を身につけるための教養教育科目を配置する。また専門科目では、基礎理論に関する科目、対象の理解に関する科目、保育・教育の内容・方法に関する科目を配置する。 4. 地域や世界の保育課題に気づき、取り組むことができるよう、地域の福祉や保育に関する科目、海外幼児教育に関する科目を配置する。 5. 二年間で保育士資格、幼稚園教諭二種免許状および社会福祉主事任用資格の取得が可能なカリキュラムを編成する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： 地域こども保育学科： https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/policy_hoiku/ ）

(概要)

地域こども保育学科

入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

＜求める人物像＞

1. 子どもが好きで、子どもを理解し、共に生きることを考え、子どもと一緒に自身の感情を豊かに表現することのできる者。
2. 主体的に周囲とかかわることができ、対話を通して課題を見つけ、解決しようとする意欲のある者。
3. 基礎的な学力を備え、保育の理論と実践を深く学ぶ意欲のある者。
4. 子育て家庭や地域社会の保育課題解決に意欲のある者。

＜高等学校で履修すべき科目や取得しておくことが望ましい資格等＞

主体的に他者とのコミュニケーションを円滑に行うために、聞く・話す・読む・書くなどの国語に関する基礎的な知識や技能を習得しておくことが望まれます。その他、公共を中心に、どの科目もバランスよく学んでおくこと。入学後の講義、演習、実習において、学ぶ内容に対して理解を深め、他の学生と協働し、様々な課題を探究解決する能力を育成するために必要となります。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.oc.jc.ac.jp/gakuin/johokokai/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	0人	—					0人
地域こども保育学科	—	6人	3人	2人	0人	0人	11人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
2人		10人					12人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>「沖縄キリスト教短期大学FD委員会」を設置し、建学の精神を踏まえた学科の教育目的並びに、目標とする教職員像及び人材育成方針に基づき、教育内容・教育方法の改善を図るため、様々なFD活動を行っている。</p> <p>【主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FDに係るアセスメント調査（授業改善アンケート、学生生活実態調査、成績分布状況等）の計画・実施及び結果分析 ・ティーチング・アワードの選考 ・FDワークショップの実施 							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
地域こども 保育学科	70人	61人	87.1%	170人	118人	69.4%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	70人	61人	87.1%	170人	118人	69.4%	0人	0人
<p>(備考)</p> <p>・本表については、令和8(2026)年度からの入学及び収容定員変更に伴い、学年進行により適用した数値を記載している。</p> <p>※様式第1号添付書類及び機関要件の確認事務に関する指針(p.45)に準拠。</p>								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保育科	8人 (100%)	0人 (%)	6人 (75%)	2人 (25%)
地域こども 保育学科	58人 (100%)	2人 (4%)	46人 (79%)	10人 (17%)
合計	66人 (100%)	2人 (3%)	52人 (79%)	12人 (18%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)

進学先：沖縄大学、白梅学園大学

就職先：県内・県外保育園、こども園

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
地域こども 保育学科	61人 (100%)	58人 (95.1%)	1人 (1.64%)	2人 (3.28%)	0人 (0.00%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	61人 (100%)	58人 (95.1%)	1人 (1.64%)	2人 (3.28%)	0人 (0.00%)

(備考)

- ・2026年3月31日現在
- ・入学者には、10月入学生を含まない。
- ・留年者数には、休学により在籍不足となる学生（1人）を記載している。

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業科目について、本学では「シラバス作成ガイドライン」に則り科目担当教員がシラバスを作成する。シラバスにおいては、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・マップ、また作成ガイドラインに基づき、各項目（授業形態、到達目標、授業の概要、各回の授業計画及び事前学習・事後学習、評価方法・評価基準、DPとの関連性等）について明記している。その際、第三者（学科長、教学支援部長、学科教員間、等）による点検作業を実施し、適正性に欠けるシラバスについては、担当教員へ修正を指示し、適正な内容へと改善を行っている。シラバスは3月中旬に完成し、ホームページ上で公表している。シラバス活用については、履修登録ガイドと併せてWebシラバスの利用手順を履修登録前の3月下旬にホームページ上に掲載し学生向けに周知している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>学修の成果に係る評価は、各授業科目の「評価方法」として、到達目標に対する学修成果の到達度を適切に評価できる方法及び割合を、シラバスにあらかじめ明示している。 (例：定期試験〇%、課題・授業外レポート〇%、小テスト〇% 等)</p> <p>また各授業科目の「評価基準」についても、到達目標で示した学修成果の到達度を評価する際にどこに着目するのか、具体的で客観的な判断基準として「授業別ルーブリック評価」を導入し、評価項目と評価基準について、初回講義時に学生に説明することとしている。 客観的な指標としてGPA制度を採用しており、活用状況については下記URLにて公表している。</p> <p>卒業の認定に当たっては、以下の「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」を踏まえた上で、所定の単位数を修得した学生に対し、学則第12条、第30条及び学位規程第2条に則り、卒業を認定し学位を授与する。</p> <p>【沖縄キリスト教短期大学】 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） キリスト教、平和、沖縄の学びそして他者への奉仕を重んじる本学の建学の精神を理解し、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を伸ばすための主体</p>
--

(任意記載事項)

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：

教育環境：https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/gaiyou/info_edu/

校地・校舎：<https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/gaiyou/kouti/>

キャンパスマップ：<https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/gaiyou/cmap/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	地域こども保育学科	660,000 円	130,000 円	220,000 円	教育充実資金 (年間) 休学中の在籍料 (年間)
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>1. 奨学金 意欲と能力があり、経済的理由により、学費援助を必要とする学生のために本学独自の奨学金があり、すべて給付型（返還不要）である。</p> <p>2. 日本学生支援機構の給付型奨学金の採用候補者 入学手続き時に「大学等奨学生採用候補者決定通知」の写しと共に「学費分納願」を提出し、分納手続きを行った入学生については、前期分授業料減免予定額を入学後まで猶予している。入学後、JASSO より採用の確認が取れ次第、奨学金と減免額の振替処理を行っている。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>1. 就職について キャリア支援課において、徹底した「個別支援」、きめ細やかな就職支援を行っている。</p> <p>(1) 個別相談・個別支援 (2) 就活スタートアップセミナー (4 月) (3) フレッシュマンセミナー (6 月) (4) 就職セミナー (7 月、10 月) (5) 学内就職説明会 (6 月、10 月) (6) 講義との連携 (7) 資格取得奨励金給付 (英検、TOEIC を含め英語系資格取得者への奨励金)</p> <p>2. 進学について 大学編入学についての各種相談、情報提供等を学生課にて行っている。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生一人ひとりに入学と同時に担当教員（アドバイザー）を決定し、何でも気軽に話し合える関係づくりと学生のアカデミックライフの資質向上を目標としたオフィスアワーの体制をとっており、学生個々人の豊かな自己発展につながるよう支援している。 ・専門のカウンセラーによる面談・メールでの相談を受けている。 ・毎年 4 月（復学者は 9 月）に健康診断を実施し、学生の身体状況を把握している。結果により校医等による相談・指導などフォローアップを行っている。 ・障害学生に対しては、規程を整備し大学全体でサポート・合理的配慮の提供ができる体制を整えている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/eduinfo/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。